

# 基礎数学B 講義演習プリント・出席確認

担当 石川 剛郎 (いしかわ ごうお) (2015年度後期)

No. 22 西暦2015年12月18日 (金2)

学生番号

氏名

22-1.  $(X, \mathcal{O})$  を位相空間とする. 次の (I)(II) が成り立つ.

(I)  $A_\alpha \subset X$  が連結集合 ( $\alpha \in \Gamma$ ) で, 共通部分  $\bigcap_{\alpha \in \Gamma} A_\alpha \neq \emptyset$  のとき, 和集合  $\bigcup_{\alpha \in \Gamma} A_\alpha \subset X$  は連結集合である. (証明略)

(II)  $A \subset X$  が連結集合ならば閉包  $\bar{A} \subset X$  も連結集合である. (証明略)

上の (I)(II) を用いて, 次の問い (1)(2) に答えよ.

(1)  $X$  における2項関係  $\sim$  を,  $x, y \in X$  に対し,

$$x \sim y \stackrel{\text{def}}{\iff} X \text{ の連結な部分集合 } A \text{ が存在して, } \{x, y\} \subset A$$

により定義する.  $\sim$  が  $X$  上の同値関係であることを (I) を用いて示せ.

(2)  $x \in X$  に対し, (1) で定めた同値関係  $\sim$  に関する同値類  $C_x$  を  $x$  の属する連結成分とよぶ.  $C_x \subset X$  が連結集合であることを (I) を用いて示せ. また,  $C_x$  が  $X$  の閉集合であることを (II) を用いて示せ.

(1)  $\cdot x \in X$  とする.  $\{x\} \subset X$  は連結集合で  $x \in \{x\}$  だから  $x \sim x$   
 $\cdot x, y \in X, x \sim y$  とする.  $\exists A \subset X$  連結,  $\{x, y\} \subset A$   
(もちろん  $\{y, x\} \subset A$  だから) かつ  $y \sim x$   
 $\cdot x, y, z \in X, x \sim y, y \sim z$  とする.  $\exists A \subset X$  連結,  $\{x, y\} \subset A$   
 $\exists B \subset X$  連結,  $\{y, z\} \subset B$ . このとき  $C = A \cup B$  とおくと  
 $y \in A \cap B$  だから  $A \cap B \neq \emptyset$ . かつ (I) かつ (II)  $C$  は連結  
 $\{x, z\} \subset C$  だから  $x \sim z$ .

(2)  $y \in C_x$  とする.  $x \sim y$  だから  $\exists A_y \subset X$  連結,  $\{x, y\} \subset A_y$   
このとき  $A_y$  の任意の点  $z$  は  $x$  と同値だから  $A_y \subset C_x$   
かつ  $\bigcup_{y \in C_x} A_y \subset C_x$ ,  $y \in C_x$  に対し  $y \in \bigcup_{y \in C_x} A_y$  だから  
 $\bigcup_{y \in C_x} A_y \supset C_x$  かつ  $C_x = \bigcup_{y \in C_x} A_y$  かつ (I) かつ (II)  
 $C_x$  は連結. (II) かつ  $\bar{C}_x$  は連結,  $\forall y \in \bar{C}_x$  に対し  $x \sim y$  だから  
 $\bar{C}_x \subset C_x$ .  $C_x \cap \bar{C}_x$  だから  $\bar{C}_x = C_x$  かつ  $C_x$  は  $X$  の閉集合

《「数学の仕組み」に関するメモ》

1. 位相空間  $X$  の部分集合  $A \subset X$  が連結集合であるとは, 「 $A \subset U_1 \cup U_2$ ,  $U_1, U_2$  が  $X$  の開集合で,  $A \cap U_1 \cap U_2 = \emptyset$  ならば,  $A \cap U_1 = \emptyset$  または  $A \cap U_2 = \emptyset$ 」が成り立つことである. (定義)

(1) 1点からなる集合  $\{x\} \subset X$  は連結集合である. (証明略. 後で自分で証明を付けるとよい)

(2) 一般に,  $A \subset X$  の内部  $A^\circ$  は  $X$  の開集合である.  $A^\circ$  は  $A$  に含まれる最大の開集合である. 閉包  $\bar{A}$  は  $X$  の閉集合である.  $\bar{A}$  は  $A$  を含む最小の閉集合である. (証明略. 後で自分で証明を付けるとよい.)